



横浜FCがJ1チームで初めて 横浜ブルーカーボン・オフセット制度を活用します！

横浜市は、海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン事業^{※1}」において、平成26年度から横浜ブルーカーボン・オフセット制度を運営しています。

このたび日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）J1のチームとしては初めて、横浜FCが公式戦で排出したCO₂を横浜ブルーカーボン事業によって生みだされたクレジットでカーボン・オフセット^{※2}（埋め合わせ）を行います。

オフセット対象試合

日時：令和2年10月18日（日）14:00～
場所：ニッパツ三ツ沢球技場^{※3}
対戦相手：FC東京
オフセット対象：来場者1人あたり1kg分のCO₂



©2009 Y.F.SPORTS C.
フリ丸

横浜FCの環境活動

横浜FCでは様々な環境活動に取り組んでいます。その一貫として、全てのホームゲームにおいて、CO₂削減に貢献するため、カーボン・オフセットを実施しており、2019年度は168トンのカーボン・オフセットを実施しました。

本年度もホームゲームの試合を通じて排出されたCO₂について、来場者1人あたり1kg分のカーボン・オフセットを実施します。

また、横浜FCではホームゲーム試合終了後に約30分、スタジアム周りのゴミ拾いを実施する「LEADS TO THE OCEAN プロジェクト」やペットボトルキャップを回収し、リサイクルして新たな製品の材料として使用する「PETボトルキャップ回収プロジェクト」等を実施しています。



PETボトルキャップ回収
プロジェクト



©YOKOHAMA FC
LEADS TO THE OCEAN
プロジェクト

【※1 横浜ブルーカーボン事業】

海洋に生息する生き物によって吸収・固定される炭素を「ブルーカーボン※4」といいます。本事業では、ブルーカーボンに加え、海洋におけるエネルギー等の利活用を「ブルーリソース※5」と名付け、これらを一体として温暖化対策に取り組み、さらに、海辺環境の魅力を向上させることで「親しみやすい海づくり」を目指しています。

具体的な取組として、ブルーカーボンなどを活用したカーボン・オフセット制度「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」の導入を進めており、「地元産わかめの地産地消」等によるCO₂削減効果を活用し、排出されたCO₂のオフセット（埋め合わせ）を行っています。



◆横浜ブルーカーボン事業 <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/ygv/bluecarbon.html>

【※2 カーボン・オフセットとは？】

カーボン・オフセットとは、自分の温室効果ガス排出量を把握し、できるだけ排出量の削減努力を行ったうえで、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・固定量で相殺（オフセット）することをいいます。

【※3 ニッパツ三ツ沢球技場】

（住 所）

〒221-0855 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1

（アクセス）

①JR「横浜」駅西口より市営または相鉄バス（6～10番乗り場）で「三ツ沢総合グラウンド入口」下車徒歩5分

②市営地下鉄「三ツ沢上町」駅より徒歩15分

※試合当日のご来場は、電車・バス等公共交通機関をご利用ください。

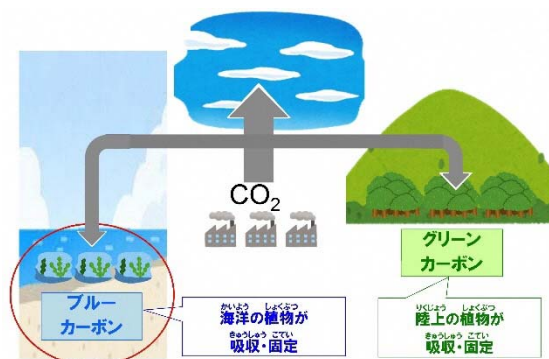
※近隣他施設の駐車場は、施設利用者のご迷惑となりますので利用なさらないようお願い申し上げます。

【※4 ブルーカーボンとは？】

森林が吸収・固定するCO₂をグリーンカーボンといいます。同様に、海洋生態系が吸収・固定するCO₂をブルーカーボンといいます。

【※5 ブルーリソースとは？】

海を利用した取組による省エネ効果・CO₂排出量削減効果をブルーリソースと呼んでいます。これは横浜市独自の考え方によるものです。



ブルーカーボンとグリーンカーボン

お問合せ先

温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長 岡崎 修司 Tel 045-671-2636